

# はたちの座談会2019

生涯学習課青少年係  
☎(63)8323



1月26日、「はたちの座談会」が開催され、市長、教育長と新成人15(いちご)人が参加しました。未来へ一歩踏み出したフレッシュな新成人たちによる意見交換の様子を一部紹介します。  
会場協力:トラットリア パスタ フレスカ (貝島町)

後列左より、<sup>うえさわゆうたろう</sup>上澤優多朗、<sup>いしかわかいと</sup>石川海人、<sup>たしろけいすけ</sup>田代敬祐(司会)、<sup>いしはらなかし</sup>石原隆史、<sup>ひらのたいが</sup>平野太雅(委員長)、<sup>いまきみづき</sup>今木美月(司会)、<sup>にしざきれいか</sup>西崎麗華、<sup>さとうあや</sup>佐藤彩、  
<sup>あかほねともか</sup>赤羽智加、<sup>すがのや</sup>菅野谷みなみ。前列左より、<sup>ほしのひろき</sup>星野弘樹、<sup>しらいあゆみ</sup>白井歩、<sup>たなべみずすず</sup>高橋臣一教育長、<sup>うえはらちさと</sup>佐藤信市長、<sup>やまもとあのみ</sup>田辺実鈴、<sup>うえはらちさと</sup>上原千聖、<sup>やまもとあのみ</sup>山本倉海。

## 成人式を終えて

平野

実行委員長を務めることに、不安もありましたが、仲間と協力しながら「自分たちで自分たちの成人式を作ろう」と取り組み、大成功の式となりました。主体性と協力の大切さ、仲間たちなど、多くのものを得ることができました。

上原

企画運営には、協力が不可欠であると改めて感じました。このメンバーだからこそ楽しく取り組めたと思うので、今後もこのつながりを大切にしていきたいです。

田辺

スライドショーのための動画撮影を提案したところ、みんなが賛成し協力してくれました。当日の上映では、会場全体が一つになり、涙が出るほど嬉しかったです。

佐藤

2年間の実行委員会を通して、自分の思うことを言えるようになり、周りが自分を助けてくれる安心感も得ることができました。式に携わることができて、地元が好きになりました。



▲平野 太雅  
「多くのものを得た成人式」

市長

実行委員の皆さんの思いを聞き、成人式が有意義なイベントであることを感じ大変うれしく思いました。式典が終わった後の皆さんの顔には充実感がありました。皆さんにとって良い経験になったと思います。

教育長

## 将来の夢やはたちの抱負

白井

小学生の時に妹の世話をしているうちに、幼稚園の先生になりたいと思うようになりました。実習で子どもたちと触れ合うことで、一層その思いが強くなりました。将来は園長先生になって、子どもたちが楽しく通い、先生が楽しく働けるような幼稚園を作っていきたいです。

赤羽

私も保育士を目指していて、専門学校から始めたピアノをがんばっています。一緒に楽しく遊べて、頼れる保育士になれるように、これからもたくさん学んでいきたいです。



▲田辺 実鈴  
「みんなでの動画を提案」

# 未来へ一歩踏み出そう 強い意志を胸に

菅野谷

私は、今年教育実習を控えています。2020年には教育内容も大きく変わるので、学校だけではなく、留学やボランティアなどの経験や人々との出会いを積み重ね、将来に向けて努力していきたいです。

西崎

臨床検査技師になるため、国家試験に向けての勉強のほか、病院での臨地実習からも多くを学びたいです。また、1年生から入っている献血推進ボランティアの活動も、今後も継続していきたいです。大人としての自覚を持ち、自立したいです。社会人2年目になり、仕事が忙しく辛い時もありますが、「ここを乗り越えてレベルアップできるようにがんばりたいです」。

上澤

大学の国際コミュニケーション学部で勉強していて、将来は外国人労働者などのサポートをしたいです。今取り組んでいる多文化交流活動のスタッフ活動を通して、いろいろな国や立場の人の考え方を聞き、将来に生かしていきたいです。小学校の教員を目指しています。子どもたちには人間らしさを教えたいです。自分自身の幅を広げるために、大学のサークルの立ち上げや運営、また市役所新庁舎整備の市民ワークショップに参加したりとさまざまなことに取り組んでいます。

山本

平野

（この欄は上記の山本と平野の重複内容です）

市長

しっかりと目標を立ててがんばっている姿を見て、心強く感じました。経験を糧に成長していくてくださいます。

教育長

苦労や挫折も後になって生きてくるので、諦めずに夢に向かってがんばってほしいです。

## 未来に残したい鹿沼

今木

鹿沼秋まつりを残したい。ユネスコ無形文化遺産に登録され海外からの観光客も多く参加しているのを見て、秋まつりが鹿沼を活性化させていると思いました。自分は秋まつりに若衆として参加しています。続けるなかで知り合いが増え、市外の友人が来てくれたときは嬉しく思いました。

田代

（この欄は上記の田代と今木の重複内容です）



▲石川 海人  
「みんなをつないでくれた場所を残したい」

星野

自分も秋まつりにお隣子で参加していて、最近は海外からの観光客や市外からの友達が増えたように感じます。他にもたくさんあるお祭りも残していきたいと思えます。

田代

作新学院高校在学時に、甲子園で優勝し、鹿沼に帰ってきたときには、たくさん温かい祝福の言葉をもらいました。「このような人の温かさも未来に残していけたらいいな」と思います。

石川

僕は、小さい頃から試合をしてきたサンエゴ自然の森サッカー場を残したいです。鹿沼でサッカーをしている人にとつての聖地だと思います。サッカー場としてだけでなく、多目的に使える広場にして活用していくと思います。

石原

僕は高校の時に古峰ヶ原街道整備事業に参加して、初めて古峰ヶ原を訪れました。古峰ヶ原はとても自然が豊かで、この環境を未来に残していきたいと思いました。ドライブをしていても、「鹿沼はいいところが多いんだな」と感じます。地域のお祭りに若い皆さんが積極的に関わることや伝統を引き継ぎ、地域の絆を築くことができるのだと思います。

市長

ぜひ、地元にとれくらの文化財があるのかも調べてみてほしい。自分の故郷をもつ二度振り返ってみると鹿沼の良さを味わえるのではないかと思います。

教育長

（この欄は上記の市長と教育長の重複内容です）

### 市長・教育長から

これからの社会は、若い皆さん抜きには成り立っていきません。次の世代は自分たちが引っ張っていくんだという気持ちを持って、それぞれ夢の実現に向けてがんばってほしいです。



佐藤市長

皆さん、目の前の現実を十分踏まえて目標を持って取り組んでいることがよく分かり、頼もしく思いました。今後も仲間とのつながりを大切にしてください。



高橋教育長

- 県議会選挙
- 当初予算
- 春まつり
- 私たちの座談会
- 古澤育英会
- GW業務案内
- BOB・ミニチュ
- 市民のひろば
- アイドル
- 健康
- お知らせ
- 庁舎整備